

雇用



観光  
定住



# 神栖市 まち・ひと・しごと創生総合戦略



神栖市イメージキャラクター  
カミスココくん



出産  
子育て



魅力



神 栖 市



## 目次

I	地方創生における基本的な考え方 .....	1
II	計画期間と推進体制 .....	2
III	神栖市の現状と課題 .....	3
IV	総合戦略本編 .....	7
	1 将来像 .....	7
	2 4つの基本目標 .....	8
	3 重点プロジェクトについて .....	9
	4 今後の施策の方向等	
	基本目標1 神栖市における安定した雇用をつくる .....	10
	基本目標2 神栖市への新しい人の流れをつくる .....	15
	基本目標3 神栖市での結婚・出産・子育ての希望をかなえる .....	19
	基本目標4 安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる .....	24



# I 地方創生における基本的な考え方

## (1) 地方創生をめぐる動き

2008年（平成20年）の1億2千8百8万人を境に減少局面に入った我が国の人口は、今後加速度的に減少が進み、減少する地域も、地方から都市部へと、日本中に広まっていくと予想されています。その結果、日本の総人口は、約100年後の2110年には、4千2百万人台になるとの予測さえされています。

こうした人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、これに基づき、国は、同年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

## (2) 策定の趣旨

当市においては、人口は昭和40年代以降、鹿島開発を背景にして着実に増加してきており、平成23年の東日本大震災の発生以降は、若干減少しているものの、全国と比べれば、比較的恵まれた状況にあるといえます。

しかしながら、そのような当市においても、人口は、国立社会保障・人口問題研究所の予測を参考に推計すると、このまま何も対策を講じなければ、2060年には、約7万5千人まで減少すると予想されます。このため、今後は、人口減少を防ぐための積極的な対応が求められるとともに、人口動向により社会的な活力の低下を招いたり、地域の経済活動へ影響が及ばないように、対策を講じていくことが必要です。

こうした状況を受けて、当市では、「神栖市人口ビジョン」において示す人口の現状と将来展望を踏まえ、今後5年間で取り組む「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

## (3) 基本的な考え方

当市の人口動向が、比較的恵まれた状況にある要因は、鹿島臨海工業地帯の立地企業等の恵まれた雇用環境や、企業税収による豊かな財政に支えられた充実した子育て支援策等にあると考えられます。

したがって、当市が今後も活力を維持していくためには、こうした長所を更に伸ばすことが重要です。

一方で、全国的な知名度の向上や、安全・安心なまちづくり等の課題にも取り組んでいかなければなりません。

こうした取り組みを通じて、今後、まちの魅力を一層向上させ、ワンランク上の都市、品格ある都市へ脱皮し、基本構想に掲げる「市民とともにつくる“躍進する中核都市”かみす」を目指していきます。

## II 計画期間と推進体制

### (1) 計画期間

この「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は**5年間(平成27年度～31年度)**とします。

### (2) 推進体制

#### ①神栖市まち・ひと・しごと創生本部会議

「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を実施するため、神栖市まち・ひと・しごと創生本部において、全庁的な取り組みを推進します。

#### ②PDCAサイクルの確立

総合戦略に位置づけた施策の効果を検証し、改善していくため、4つの基本目標ごとに数値目標を設定するとともに、それぞれの施策について重要業績評価指標を設定します。

また、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスに取り込むPDCAサイクルを確立します。

#### ③神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

市民をはじめ学識経験者、産業界、金融機関などの有識者で組織する「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において、毎年度、効果の検証を行い、必要に応じて戦略を見直していきます。

### Ⅲ 神栖市の現状と課題

#### (1) 産業

##### 強み

- 国内でも有数の基礎素材産業が集積する工業団地を有している
- ピーマンやトマトなどの施設園芸が盛ん
- 大量水揚げに対応できる漁港があるほか、水産加工業者の集積がある

##### 弱み

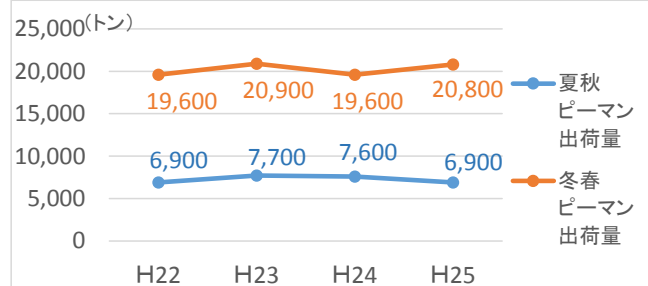
- 税収・雇用の多くを工業団地の立地企業に依存している
- ピーマンの生産地が広がり、産地間競争が激しくなっている。
- 農業者の高齢化が進展するとともに、耕作放棄地が増加している
- 漁獲量に比して、波崎漁港への水揚げが少ない
- 空き店舗が増加しつつある

#### 主な現況データ

##### ■従業者数、企業数、事業所数（出典：経済センサス） 製造品出荷額（出典：工業統計調査）

データ名	統計量	県内順位
従業者数（H24）	50,806 人	6 位
企業数（H24）	3,006 社	8 位
事業所数（H24）	4,171 箇所	8 位
製造品出荷額（H24）	129,270,254 千円	1 位

##### ■ピーマン出荷量（出典：農林水産省作況調査（野菜））



##### ■水揚げ量（出典：茨城県海面漁業水揚げ高集計表）

データ名	統計量	県内順位
波崎漁港の水揚げ量（H26）	7,252 トン	1 位

##### ■水産加工品生産量（出典：波崎水産加工業協同組合聞き取り）

データ名	統計量	県内順位
水産加工品生産量（H26）	128,500 トン	1 位

#### 主な課題

- 【工業】地域間競争に負けない競争力のある工業地帯にしていくことが必要
- 【農業】ピーマンの競争力強化（他地域との差別化）に加え、ピーマン以外の作物の研究も必要
- 【漁業】波崎漁港への水揚げを増やすことが必要
- 【水産加工業】労働力の確保が必要
- 【商業】増えつつある空き店舗を解消することが必要

## (2) 交流・人の流れ

### 強み

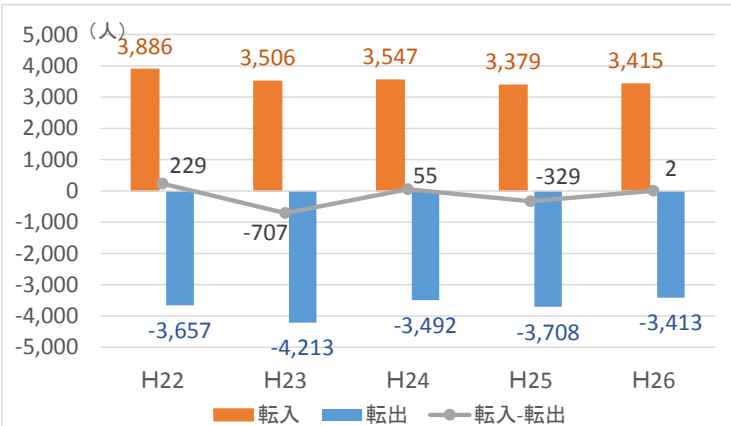
- 人口移動は、転出者より転入者の数が多く、転入超過となっている
- 県内では、住居新築数が比較的多い
- 林立する風力発電施設や工場夜景等、他にない地域資源や2つの海水浴場等の観光資源に恵まれている
- 年間宿泊者30万人と称されるスポーツ合宿施設の集積がある

### 弱み

- 近年は、社会増減は横ばい傾向
- 持ち家率が低く、他へ流出しやすい構造
- 県内では、観光入込客数は少ない
- 全国的な知名度が低い
- スポーツ合宿が盛んである割に知られていない

### 主な現況データ

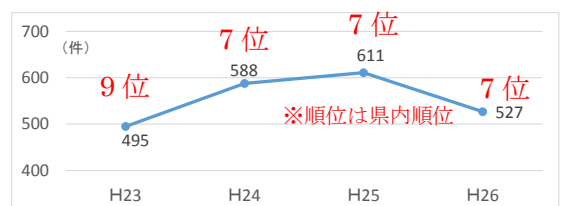
#### ■社会増減（転入，転出）の推移（出典：茨城県常住人口調査）



#### ■持ち家率（出典：国勢調査）

59.3%（県内42位／44市町村）（H22）

#### ■専用・併用居宅建築着工数（出典：建築着工統計）



#### ■観光客動態調査・市町村別入込客数（延べ人数）

（出典：茨城県観光物産課）

250,500人（県内30位／39市町村）（H25）

### 主な課題

- 近年、社会増減は横ばいで、社会増を図るためには、何らかの対策が必要
- 持ち家比率が少ない等、他へ流出しやすい構造のため、何らかの施策により、定着を図ることが必要
- 市の知名度を向上させるための取り組みが必要
- 当市の地域資源を更に活用した観光振興の取り組みが必要
- 市内で盛んなスポーツ合宿について、一般の方にも認知してもらえるよう、更なるPRが必要



### (3) 結婚・出産・子育て

#### 強み

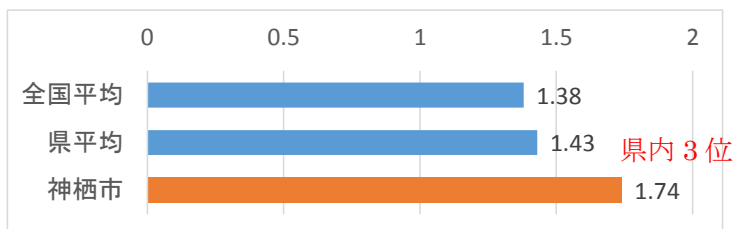
- 県内では、**出生率が比較的高い**
- 人口千人あたりの**婚姻件数は、県内では多い方である**
- 近隣市に比べ**子育てに関する施策が充実している**
- 全国に比べ、**幼稚園費用、保育所保育料等の負担が少ない**

#### 弱み

- 子育て施策が複数の課にまたがっている**
- 独身者にとっては、市内における**出会いの場が少ない**
- 待機児童が引き続き存在する**
- 医師不足が顕著**（特に産科等）

#### 主な現況データ

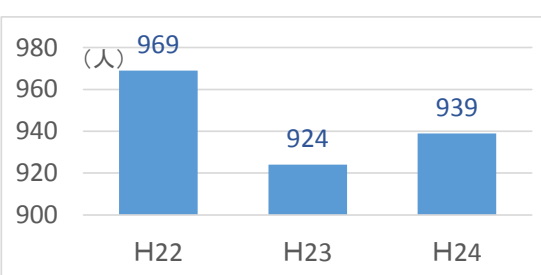
■合計特殊出生率（出典：H20-24 人口動態保健所・市町村別統計）



■H25 合計特殊出生率（出典：全国・県：人口動態調査，市：神栖市こども課調べ）

H25	全国平均	県平均	神栖市
	1.43	1.42	1.53

■出生者数（出典：茨城県社会生活統計指標）



■人口千人あたり婚姻件数（出典：茨城県社会生活統計指標）

6.1 件（県内 2 位）（H24）

#### 主な課題

- 充実した子育て施策を活用してもらうため、更なる情報発信や、PR の工夫が必要
- 複数課にまたがる子育ての相談について、円滑に、かつきめ細やかに対応できる体制が必要
- 独身者の出会いの場が必要
- 医療環境の充実を図ることが必要
- 更なる子育て支援（地域の子育て支援環境，子育て相談窓口，保育士の確保，放課後児童クラブ等）の充実を図ることが必要

#### (4) 地域環境

##### 強み

- 平成29年度に**警察署の設置**が予定されている
- 防災機能を備えた多目的施設である  
**(仮称) 神栖市中央公園防災アリーナの整備**を予定している
- 高速バスが充実**しているほか、一定のエリア内の移動を低廉な運賃で利用できる**デマンドタクシー**を運行している

##### 弱み

- 人口千人あたりの**犯罪率が県内上位**であり、治安が悪いとのイメージがある
- 地区加入率が低く、自主防災組織の結成数も少ない**など、安全・安心の基盤となるコミュニティづくりが課題
- 市域が南北に細長いため、**公共交通等で主要な施設へ移動する場合、時間を要する地域がある**

##### 主な現況データ

■**住みよさランキング** (出典：東洋経済)  
総合 65 位 (県内 7 位) (H26)

■**刑法犯認知件数** (出典：茨城県警察本部)  
1,220 件 (H26)  
(人口千人あたりの刑法犯認知件数 12.96 件：県内 4 位)

■**単身高齢者世帯割合** (出典：国勢調査)  
4.80% (県内 40 位) (H22)

■**地区加入率** (出典：神栖市市民協働課調べ)  
50.16% (H26)

##### 主な課題

- 犯罪発生率が高い等のイメージがあることから、更に、安全・安心なまちづくりを進めていくことが必要
- 市民が安心して暮らせるよう、災害時に拠点となる防災施設の整備が必要
- 地域に合った公共交通体系の確立が必要

## IV 総合戦略本編

### 1. 将来像

総合戦略に掲げる取り組みを進めることにより、雇用が生まれ、人が交流し、子どもを  
み育てやすい、安全・安心で魅力あるまちづくりを実現することにより、基本構想に掲げる  
「市民とともにつくる“躍進する中核都市”かみす」を目指していきます。

#### 将来像

### 市民とともにつくる“躍進する中核都市”かみす

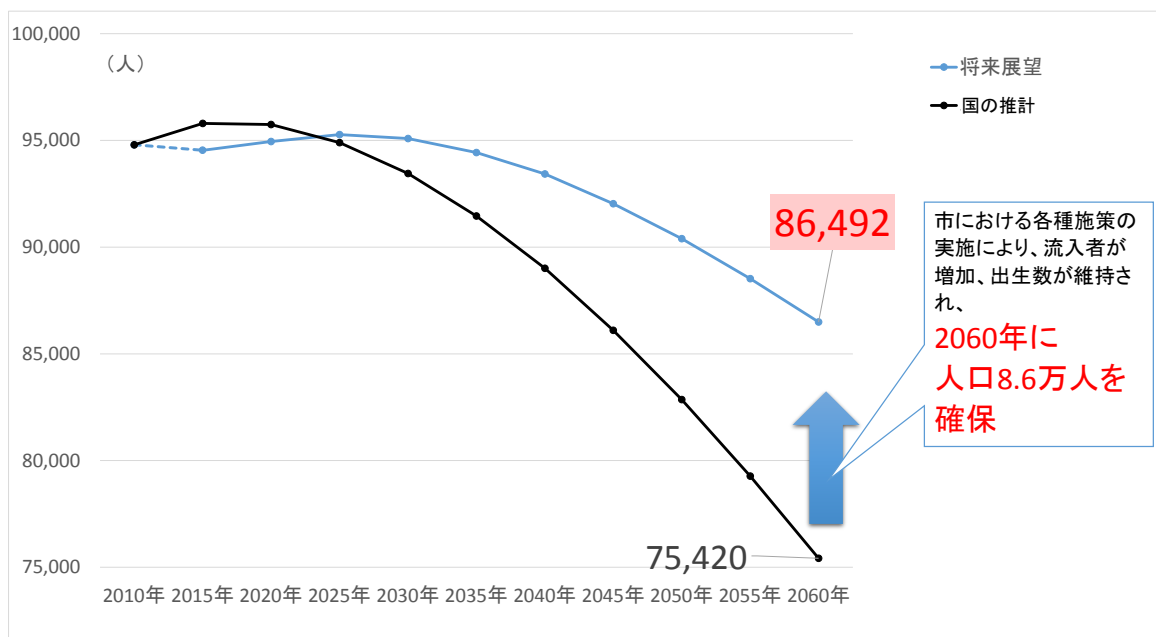
#### 将来展望人口

国立社会保障・人口問題研究所の予測を参考に推計すると当市は2015年現在で約94,000  
人強の人口が、2060年には約75,000人にまで減少します。これを、総合戦略に掲げる取  
組みを実行することにより、社会増加数を5年間で700人を確保するとともに、出生率を  
2040年までに2.1まで上昇させ、2060年に人口86,000人を確保することを目指します。

社会増加数  
5年間で700人

2040年までに  
合計特殊出生率2.1

2060年に、人口86,000人確保することを目指します



## 2. 4つの基本目標

国の総合戦略に掲げる4つの基本目標に沿って、神栖市独自の基本目標を以下のとおり定めます。

### 国の総合戦略における基本目標

基本目標1：地方における安定した雇用を創出する

基本目標2：地方への新しい人の流れをつくる

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する



### 1 神栖市における安定した雇用をつくる

鹿島臨海工業地帯の競争力の強化や、農業・水産業の成長産業化、サービス産業の活性化等に取り組み、神栖市における安定した雇用をつくります。

### 2 神栖市への新しい人の流れをつくる

ブランド力の向上や地域資源を活かした観光の充実、住宅取得の支援などを通じて、神栖市への新しい人の流れをつくり、交流人口・定住人口の増加を目指します。

### 3 神栖市での結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の出会いの演出や、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援、医療体制の充実、子育てと仕事の両立支援等を行うことにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえます。

### 4 安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる

防災・防犯活動の推進や、芸術・文化の振興、公共交通の充実等を通じて、人口減少・高齢化の時代にあっても、安心して暮らせる魅力あるまちづくりを進めます。

### 3. 重点プロジェクトについて

4つの基本目標に基づく取り組みのうち、特に重要な事業に重点的に取り組むことにより、「市民とともにつくる“躍進する中核都市”かみす」の実現を目指すため、重点プロジェクトを設定します。

#### 産業力強化プロジェクト

- ・ 新增設を行った企業に対し、新增設分の**固定資産税を3年間免除**します。
- ・ 県と連携して、本年度中に県が策定予定の「(仮称)鹿島臨海工業地帯競争力強化プラン」に取り組み、工業地帯の競争力を強化します。
- ・ 意欲ある農家等が行う**6次産業化等の取り組みに対し市独自の支援措置**を講じることで、魅力ある産地づくりを進めます。
- ・ 利用拡大が見込まれる水素エネルギーを積極的に活用するため、「(仮称)神栖市水素エネルギー利活用戦略」を策定し、水素を利活用した産業振興に取り組みます。



#### イメージアップ・定住促進プロジェクト

- ・ 住民や市外の方にわかりやすく、好印象を持っていただけるよう、**公共看板デザインを統一**します。
- ・ 市のイメージキャラクター「カミスココくん」による**ゆるキャラ日本一を目指したPR等**により、市の知名度向上を目指します。
- ・ 子や親と同居する若年世帯の住宅取得を支援する**若年世帯住宅取得補助金制度を拡充**します。
- ・ 大学卒業者等のUIJターンを促進するため、**市独自の就職説明会を開催**し、地元での就職を支援します。



#### 子育て日本一プロジェクト

- ・ 複数の窓口にまたがる子育ての相談にきめ細やかに応じられるよう、専門知識をもった「(仮称)子育てコンシェルジュ」を配置します。
- ・ 子育てに係る経済的負担を軽減するため、通称「神福」制度による**医療費助成を高校生相当まで拡充**します。
- ・ 少子化対策に本格的に取り組むため、**少子化対策の専門組織を設置**します。
- ・ 市内独身者の結婚の希望をかなえられるよう、**婚活イベントを実施**したり、「(仮称)結婚サポーター制度」の創設等により、出会いの場を提供します。



#### 安全・安心で潤いあるまちづくりプロジェクト

- ・ 災害時における避難所等の防災機能を備え、平時は多くの人が集まる多目的施設となる「(仮称)神栖中央公園防災アリーナ」を整備します。
- ・ 平成29年度に開署が予定されている「(仮称)神栖警察署」と連携した**防犯活動等**により、安全・安心なまちづくりを目指します。
- ・ **地域公共交通網形成計画を策定**し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。
- ・ 市民に芸術を身近に感じてもらうため、**新たなアートイベントを開催**し、芸術のまちづくりを目指します。



## 4. 今後の施策の方向等

### 基本目標1 神栖市における安定した雇用をつくる

鹿島臨海工業地帯の競争力の強化や、農業・水産業の成長産業化、サービス産業の活性化等に取り組み、神栖市における安定した雇用をつくります。

#### ◆基本的方向

- 鹿島港北公共埠頭の整備や東関東自動車道の鹿島港延伸など立地環境の整備を図るとともに、立地企業への競争力強化支援や企業誘致の更なる推進を図り、鹿島臨海工業地帯全体の競争力を強化します。
- 6次産業化の推進や、農産物の高付加価値化、高品質な水産物供給体制の構築等により農業・水産業の成長産業化を図ります。
- 創業を支援すること等によりサービス産業の活性化を図るとともに、職業教育の推進や女性・高齢者の活躍促進等により、産業を支える人材の確保・育成を図ります。

#### ◆5年後の数値目標

数値目標	基準値	目標値（平成31年）
工業団地内事業所数（出典：神栖市企業・港湾振興課調べ）	200事業所 (H26)	211事業所
ピーマンの出荷量（出典：農林水産省作況調査（野菜））	27,700トン (H25)	28,000トン
波崎漁港の水揚量（出典：茨城県海面漁業水揚高集計表）	7,252トン (H26)	25,000トン

#### ◆具体的な施策

##### ①鹿島臨海工業地帯における競争力強化

###### ●立地企業の競争力強化のための支援

- ・立地企業の要望調査等により、企業ニーズを把握するとともに、新增設を行った企業に対し、その新增設分の固定資産税を3年間免除する特別措置等により、立地企業を支援します。



- ・県が策定中の「(仮称) 鹿島臨海工業地帯競争力強化プラン」に基づき、県と連携して鹿島臨海工業地帯の競争力強化に取り組みます。

#### 【具体的事業】

- 立地企業支援のための要望調査【継続】
- 新增設設備等に対する固定資産税の特別措置【継続】
- (仮称) 鹿島臨海工業地帯競争力強化プラン(県)【新規】

#### 重要業績評価指標 (KPI)

##### ■固定資産税の課税免除制度に基づく新增設

件数	(H26) 88社 → (H31) 99社
雇用人数	(H26) 10,307人 → (H31) 10,559人

### ●企業誘致の更なる推進

- ・首都圏の企業等が参加する産業立地セミナーでのPRをはじめ、県と連携して、企業誘致活動を行い、更なる企業立地を図ります。

#### 【具体的事業】

- 新增設設備等に対する固定資産税の特別措置【継続】(再掲)
- 県と連携した企業誘致活動の実施【継続】

#### 重要業績評価指標 (KPI)

■工業団地内事業所数	(H26) 200事業所 → (H31) 211事業所
------------	-----------------------------

### ●本社機能の移転等

- ・本社機能の移転を促進するため、法人税の特別償却の適用などを内容とした、新たに創設された地方拠点強化税制を活用し、県と連携して、東京圏からの本社機能移転等を進めます。

#### 【具体的事業】

- 地方拠点強化税制に係る地域再生計画の策定【新規】

### ●立地環境の整備

- ・北公共埠頭の整備や国際物流への対応など鹿島港の整備に加え、東関東自動車道の鹿島港延伸について、国へ要望するなど、企業の競争力強化につながる立地環境の整備を推進します。
- ・コンテナ貨物荷主等への助成を通じ、鹿島港の一層の利活用を図ります。

#### 【具体的事業】

- 北公共埠頭整備及び東関東自動車道鹿島港延伸に係る要望【継続】
- コンテナ貨物荷主等への助成【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■鹿島港北公共埠頭の取扱貨物量

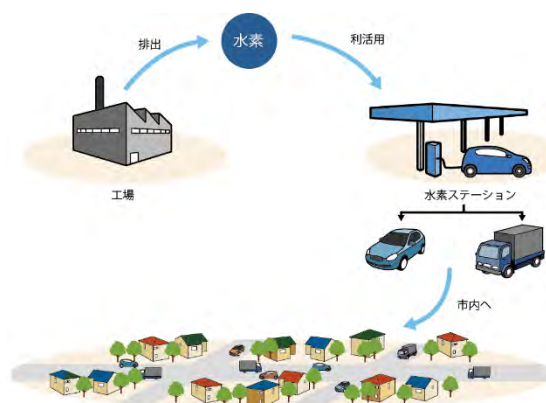
（H26）33万トン → （H31）40万トン

### ●水素社会の実現に向けた取組み

- ・今後、大幅な省エネルギーや環境負荷の低減効果が期待され、利用拡大が見込まれる水素エネルギーについて、水素先進都市を目指し、水素ステーション整備等普及拡大のための戦略を策定し、先駆的に利活用に取り組むことにより、産業振興を図ります。

#### 【具体的事業】

- 「（仮称）神栖市水素エネルギー利活用戦略」の策定【新規】



## ②農業・水産業の成長産業化

### ●6次産業化の推進

- ・農林水産業の雇用拡大や地域活力の向上を図るため、意欲ある農家等が行う6次産業化等への取り組みに対し、国・県の制度に加えて、市独自の支援措置を講じることにより、新商品開発や販路開拓、農林水産物の加工・販売施設の整備等を支援します。

#### 【具体的事業】

- 意欲ある農家等のための新たな支援措置【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■市内の事業者で6次産業化に取り組んだ件数（国・県・市の支援制度の活用延べ件数）

（H26）5件 → （H31）14件

### ●商品価値の高い農産物の生産販売

- ・ピーマンをはじめとした神栖市産農産物のブランド力の強化やピーマン日本一のまちをPRすること等により、本市農産物の商品価値の向上を図ります。
- ・経営の多角化を図るため、ピーマン以外にも神栖市の風土に適した新たな主要作物となりうる作物についても県や関係機関と連携して研究していきます。
- ・農地の有効活用を図るため、耕作放棄地の対策にも取り組んでいきます。





### 【具体的事業】

- ピーマンをはじめとした神栖市産農産物のブランド力強化【継続】
- ピーマン日本一のまちPR（まち・ひと・しごと創生事業）【継続】
- 耕作放棄地対策事業【継続】
- 意欲ある農家等のための新たな支援措置【新規】（再掲）

重要業績評価指標（KPI）

■特別栽培農産物に係る県の認証を受けたピーマンの出荷量  
（H26）5,112トン → （H31）7,500トン

### ●高品質な水産物供給体制の構築

- ・水産業の基盤強化等により、高品質な水産物供給体制を構築するとともに、漁港周辺の活性化方策や、水産物のブランド化、現状分析に基づく波崎漁港の水揚げ量増加策、労働力確保策等を検討し、水産業や水産加工業の振興を図ります。



### 【具体的事業】

- 水産業の基盤強化のための補助金等【継続】
- 漁港周辺の活性化方策等の検討【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■波崎漁港の水揚量 （H26）7,252トン → （H31）25,000トン

### ●地産地消による消費拡大

- ・生産者による販売の促進や、学校給食への活用等により、地産地消を推進し、需要拡大を図ることで地場産業の育成と経済の活性化を図ります。

### 【具体的事業】

- 地元食材活用の推奨【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■地元水産物・水産加工品を販売する店舗数 （H26）9店舗 → （H31）17店舗

## ③サービス産業の活性化

### ●空き店舗対策の推進

- ・使用していない空き店舗を利用し、新規に事業を開始する事業者に対して補助することにより、中小企業の活力向上を図るとともに、暮らしやすい地域をつくります。

### 【具体的事業】

#### ○チャレンジショップ事業補助金【継続】

重要業績評価指標（KPI）

- チャレンジショップ制度を利用して開設した店舗数  
（H26）2店舗 → （H31）7店舗

### ●創業支援

- ・国の特定創業支援事業を活用し、商工会と連携して、創業セミナーの開催等により、創業者の経営・販路開拓等のノウハウ取得を支援します。

### 【具体的事業】

#### ○特定創業支援事業（国）【継続】

重要業績評価指標（KPI）

- 市内における特定創業支援事業による創業件数 （H26）0件 → （H31）11件

## ④産業を支える人材の確保・育成

### ●学校と連携した職業教育の推進等

- ・企業にとって即戦力となりうる人材の育成を図るため、高校・企業と連携して高校生の地元企業での長期研修等の職業教育を推進します。

### 【具体的事業】

#### ○波崎高校デュアルシステム（県）【継続】

### ●女性・高齢者の活躍促進

- ・ひとり親家庭への支援や、高齢者の雇用確保などにより、女性・高齢者の活躍を支援します。

### 【具体的事業】

- 母子父子福祉事業【継続】
- 高等技能訓練促進事業【継続】
- シルバー人材センター事業費助成【継続】

## 基本目標2 神栖市への新しい人の流れをつくる

ブランド力の向上の取り組みや地域資源を活かした観光の充実化、住宅取得の支援などを通じて、神栖への新しい人の流れをつくり、交流人口・定住人口の増加を目指します。

### ◆基本的方向

- 市のイメージアップや公共看板デザインの統一、特産品開発等を推進するとともに、情報発信力を強化することで、市の知名度とブランド力の向上を図ります。
- 大規模イベントの開催に加え、スポーツツーリズムや地域資源を活かした観光の推進を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れた交流の推進等により、交流力を強化します。
- 若年世帯への住宅取得支援や、U I J ターンの促進等により、定住促進のための環境を整備します。

### ◆5年後の数値目標

数値目標	基準値	目標値（平成31年）
観光入込客数（出典：神栖市商工観光課調べ）	280,470人 (H26)	330,000人
年間社会増加数（出典：住民基本台帳）	130人 (H26)	140人 (5年間で700人)

※年間社会増加数とは、年間転入者数から年間転出者数を差し引いた数

### ◆具体的な施策

#### ①ブランド力向上

##### ●イメージアップの推進

- ・市外への情報発信力を強化するため、ゆるキャラ日本一を目指したPR活動など、「カミスココくん」を活用した知名度向上の取り組みや、観光情報の提供、特産品の販売促進等を行い、市のイメージアップを図ります。
- ・コンビナートの定期修理に訪れる技術者や、スポーツ合宿に参加する大学生など、市外から大勢の方々が訪れる場面を大切なPR機会と捉え、積極的に情報発信していきます。



### 【具体的事業】

- かみすイメージアップ大作戦事業【継続】
- まち・ひと・しごと創生事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■魅力度ランキング（地域ブランド研究所調査）（H26）970位 → （H31）600位

### ●公共看板デザインの統一

- ・住民に分かりやすく，市外から神栖市を訪れた方々にも良い印象を持っていただけるよう，公共看板のデザイン統一を図ります。

### 【具体的事業】

- （仮称）神栖市公共サイン整備ガイドラインの策定【新規】

### ●SNS等を活用した情報発信力の強化

- ・若者を中心に広く普及している Twitter 等の SNS を積極的に活用し，よりタイムリーに情報を発信するとともに，閲覧者が欲しい情報を容易に取得できるよう，SNS とホームページとの連携を強化する等により，情報発信力を強化します。

### 【具体的事業】

- SNS等を活用した情報発信【拡充】

重要業績評価指標（KPI）

■神栖市の発信する SNS の登録者数（H26）2,700人 → （H31）5,000人

### ●特産品開発の更なる推進

- ・現在行われている新しい特産品開発への補助に加え，これまでに開発された特産品についても認証するなど，特産品の認証制度を拡充し，認知度の向上を図ります。

### 【具体的事業】

- 地域特産品開発事業【拡充】

重要業績評価指標（KPI）

■地域特産品認定件数（延べ数）  
（H26）4件 → （H31）14件



## ②交流力強化

### ●おもてなし力の向上

- ・市内の宿泊施設や観光施設の従業員等を対象に，おもてなし研修を実施するとともに，

市の玄関口に立つ歓送迎タワーの建替えや、海水浴場の歓迎サインの設置、Wi-Fi スポットの整備などにより、神栖のおもてなし好感度を上げ、観光客の増加を図ります。

### 【具体的事業】

- おもてなし研修事業【継続】
- 歓迎タワー設置事業【継続】
- 海水浴場開設事業（歓迎サインの設置）【継続】
- Wi-Fi スポットの拡充【拡充】

重要業績評価指標（KPI）

■観光入込客数 （H26）280,470人 → （H31）330,000人

### ●地域資源を活かした観光等の推進

- ・鹿島臨海工業地帯の工場夜景や風力発電所等、本市固有の観光資源を活用した観光について、近隣市町村と連携した広域観光の可能性も含め、推進します。



### 【具体的事業】

- 観光振興事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■（再掲）観光入込客数 （H26）280,470人 → （H31）330,000人

### ●スポーツツーリズムの推進

- ・本市はスポーツ合宿が盛んなことから、今後、旅館関係者の意見を伺いながら、更なる情報発信に努めるなど、スポーツツーリズムのまちづくりを推進します。

### 【具体的事業】

- スポーツ合宿等にかかる情報発信の強化【新規】

### ●東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れた交流の推進

- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には、多数の外国人観光客の訪問が見込まれることから、外国語ボランティアの育成など受け入れ体制を整えるとともに、外国人向けの歓迎イベントを実施するなど、外国人との交流を推進します。

### 【具体的事業】

- 外国人向けの歓迎・交流イベントの実施【新規】

### ●大規模イベントの開催

- ・多数の来場者がある大規模なイベントは、本市を市外にPRし、市外の方と交流を深める機会であることから、舞っちゃげ祭り、きらっせ祭り等の大規模イベントの開催を支援し、街中ににぎわいを創出します。



#### 【具体的事業】

- 神栖市まつり事業補助金交付事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■まつり入込客数 (H26) 168,500人 → (H31) 198,500人

## ③定住促進のための環境整備等

### ●住宅取得の支援

- ・子や親と同居する世帯の住宅取得に対し、助成を行う若年世帯住宅取得補助金制度を拡充するとともに、新築住宅に対する固定資産税減免制度を延長するなどにより、市外居住者が本市に定住しやすい環境を整備します。

#### 【具体的事業】

- 若年世帯住宅取得補助金制度の見直し【拡充】
- 新築住宅に対する固定資産税減免制度の延長【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■若年世帯住宅取得補助金制度を利用して家を取得した件数  
(H26) 126件 → (H31) 150件

■固定資産税を減免した家屋棟数 (H26) 398棟 → (H31) 408棟

### ●UIJターンの促進

- ・当市出身の大学卒業者等が当市で就職できるよう、大学生を対象とした地元就職説明会を開催することにより、UIJターンを促進します。



#### 【具体的事業】

- 大学生を対象とした地元就職説明会の開催【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■地元就職説明会参加者数（H28～31累計） (H26) 0人 → (H31) 500人

## 基本目標3 神栖市での結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の出会いの演出や、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援、医療体制の充実、子育てと仕事の両立支援等を行うことにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえます。

### ◆基本的方向

- 少子化対策の専門組織を設置し、婚活イベント等を実施すること等により、若い世代の出会いを演出します。
- 妊娠・出産・子育てにかかる経済負担の軽減やきめ細やかな相談・健診体制の構築を進めるほか、保育サービス、放課後児童対策等の子育て支援を強化し、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を行います。
- 確かな学力と豊かな心を育む教育を推進するとともに、経済的に就学が困難な学生に対し、奨学金を貸与することにより、子ども一人ひとりの教育を大切にします。
- 安心して出産・子育てができる環境の整備を図るため、医師確保に取り組むほか、小児救急病床の確保や産後ケア事業などにより、医療体制等の充実を図ります。
- ワークライフバランスの普及を図るとともに、社会全体で子育てを応援する環境を整備し、子育てと仕事の両立を支援します。

### ◆5年後の数値目標

数値目標	基準値	目標値（平成31年）
合計特殊出生率（出典：神栖市子ども課調べ）	1.53（H25）	1.76
転入者アンケート回答者のうち、「転入先に神栖市を選んだ理由」として、「子育てのしやすさ」もしくは「医療・福祉」を選んだ人の割合（出典：神栖市転入転出アンケート調査）	6.2% (H27.3.16～8.31)	10%

### ◆具体的な施策

#### ①若い世代の出会いを演出する

##### ●出会いやふれあいの場の創出

- ・婚外子が多い外国と異なり、日本においては、少子化対策として結婚が重要であることから、市においても、少子化対策の専門組織を設置し、婚活イベントの実施や（仮

称) 結婚サポーター制度の創設などにより若者の出会いの場を提供します。

- ・ 出会いの場の提供にあたっては、独身者の意識調査結果等も参考にしながら、若者が結婚したくなるような意識づくりを図るとともに、例えば、教養講座など同じ価値観を持つ人達が自然に集える機会を活用したり、他団体や企業と連携するなど、多くの機会を捉え、効果的に実施するよう努めます。

#### 【具体的事業】

- 婚活イベントの実施【新規】
- (仮称) 結婚サポーター制度の創設【新規】

重要業績評価指標 (KPI)

■ 婚活イベントの年間参加者数 (H26) 0人 → (H31) 240人

## ② 妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援

### ● 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減

- ・ 通称「神福」制度による医療費助成を高校生相当まで拡充するほか経済的負担の大きい不妊治療費の助成や分娩者手当助成等により、妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担を軽減し、産み、育てやすいまちづくりを目指します。

#### 【具体的事業】

- 医療福祉費支給事業 (神福)【拡充】
- 不妊治療費助成金事業【継続】
- 分娩者手当金助成事業【継続】

### ● きめ細やかな相談体制の構築

- ・ 複数の窓口にまたがる妊娠・出産・子育ての支援制度等について、きめ細やかな相談等が実施できるよう、専門知識をもった「(仮称) 子育てコンシェルジュ」を配置します。
- ・ 出産年齢が高年齢化している現状を踏まえ、妊産婦の不安解消などに配慮した相談体制を構築します。
- ・ 保護者が子育てについて第一義的責任を有することを前提にしつつ、保護者が子どもと向き合い、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、支援していきます。

#### 【具体的事業】

- (仮称) 子育てコンシェルジュ【新規】

重要業績評価指標 (KPI)

■ (仮称) 子育てコンシェルジュ設置人数 (H26) 0人 → (H31) 3人



## ●幼児教育・保育サービスの充実

- ・待機児童の解消を図るとともに、時間外保育や、一時預かり、病児保育など、多様なメニューにより教育・保育サービスを提供します。

### 【具体的事業】

- 時間外保育事業【継続】
- 一時預かり事業【継続】
- 病児保育事業【継続】



#### 重要業績評価指標（KPI）

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ■延長保育を実施している保育園数    | (H26) 21 園 → (H31) 22 園 |
| ■一時預かり保育を実施している保育園数 | (H26) 15 園 → (H31) 22 園 |
| ■病児・病後児保育の一日あたりの定員数 | (H26) 6 人 → (H31) 10 人  |

## ●放課後児童対策の強化

- ・放課後児童クラブの運営等により、授業の終了後の児童に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、子育て世帯が働きやすい環境を整備します。

### 【具体的事業】

- 放課後児童健全育成事業【継続】

#### 重要業績評価指標（KPI）

- |                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| ■放課後児童クラブに登録している児童数 | (H26) 798 人 → (H31) 1,070 人 |
|---------------------|-----------------------------|

## ●住民への積極的な情報提供

- ・妊娠・出産・未就学児・就学児などの多様な情報の中から、使い手に分かりやすくかつ情報をより届きやすくするため、子育て情報サイト「ママフレ Web」の利用を促進するとともに、当該ウェブサイトのアプリ導入を検討します。

### 【具体的事業】

- 子育て情報提供サイトを通じた情報提供【継続】

#### 重要業績評価指標（KPI）

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| ■子育て情報サイト「ママフレ Web」の年間アクセス件数 | (H26) 16,475 件 → (H31) 24,000 件 |
|------------------------------|---------------------------------|

### ③一人ひとりの教育を大切にす

#### ●確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

- ・市独自の少人数学級編成や教科専科制により、個に応じたきめ細かな学習指導を行うとともに、児童生徒が主体的・協働的に学び合う「神栖市授業スタイル」の実践や放課後及び土曜日を活用した家庭学習の充実等により、確かな学力を身に付ける教育を推進します。
- ・自他を尊重し、思いやりの心や郷土愛を身に付けた児童生徒を育てます。
- ・小中学校の適正規模適正配置を検討するとともに、併せて小中9年間を見据えた教育について検討します。

#### 【具体的事業】

- 学力向上推進事業【継続】

#### ●就学支援

- ・経済的に就学が困難な学生に対し、教育を受ける機会を提供するため、大学生に対する学費の貸与、高校生に対する学費の給与を行います。
- ・教育ローン利子補給制度により、大学等に通う子弟を持つ保護者の負担を軽減するため、利子補助を行います。

#### 【具体的事業】

- 大学等奨学金の貸与・高校生奨学金の給与【継続】
- 教育ローン利子補給金の交付【継続】

### ④医療体制等の充実

#### ●安心して出産・子育てができる環境の整備

- ・医師確保事業補助金などにより引き続き医師確保に取り組むほか、小児救急病床確保事業や、高度医療機器整備への支援、産後ケア事業等により、安心して出産・子育てができる環境を整備します。

#### 【具体的事業】

- 医療特別対策事業【継続】
- 産後ケア事業【新規】



#### 重要業績評価指標（KPI）

- 小児科のある診療所数 (H26) 13施設 → (H31) 13施設 維持
- 二次救急病院の常勤小児科医師数 (H26) 7人 → (H31) 7人 維持

## ⑤子育てと仕事の両立支援

### ●仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の普及

- ・母親の再就職支援を行うほか、父親の育児参加を支援することで、ワークライフバランスの普及を図ります。

#### 【具体的事業】

- 高等技能訓練促進事業【継続】(再掲)
- ニューファミリーセミナー(父親の育児参加支援)【継続】

重要業績評価指標 (KPI)

- ニューファミリーセミナーアンケートで満足と答えた人の割合  
(H26) 86.5% → (H31) 90.0%

### ●子育てと仕事の両立のための環境整備

- ・仕事と家庭の両立のために独自の取り組みを行っている企業等を表彰することにより、社会全体で子育てを応援する環境を整備します。

#### 【具体的事業】

- 男女共同参画表彰【継続】

重要業績評価指標 (KPI)

- 男女共同参画表彰により表彰した企業の数(延べ数)  
(H26) 2社 → (H31) 7社

## 基本目標4 安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる

防災・防犯活動の推進や、芸術・文化の振興、公共交通の充実等を通じて、人口減少・高齢化の時代にあっても、安心して暮らせる魅力あるまちづくりを進めます。

### ◆基本的方向

- 平成29年度に開署が予定されている（仮称）神栖警察署と連携を図るとともに、防災機能を備えた（仮称）神栖中央公園防災アリーナの整備や、地域コミュニティを基盤とした自主防災組織の結成を促進することにより、安全・安心なまちづくりを目指します。
- 市民音楽祭や市芸術祭、美術展に加え、新たなアートイベントを開催するなど芸術・文化によるまちづくりを進めるとともに、ふるさととして誇れる地域づくりを進め、潤いがあり、魅力あるまちづくりを進めます。
- 今後の人口減少・高齢社会を見据え、重要となる公共交通の充実や、コンパクトなまちづくり等を検討するとともに、高齢者が住み続けられる環境づくりを進めます。

### ◆5年後の数値目標

数値目標	基準値	目標値（平成31年）
人口千人あたりの刑法犯認知件数 （出典：茨城県警察本部）	12.96 件（H26）	10.44 件
自主防災組織の数（出典：神栖市防災安全課調べ）	58 地区（H26）	68 地区

### ◆具体的な施策

#### ①安全・安心なまちづくり

##### ●警察署と連携した安全・安心なまちづくり

- ・本市に新設が予定されている警察署と連携した防犯活動や交通安全活動等により、安全・安心なまちづくりを目指します。

##### 【具体的事業】

- （仮称）神栖警察署と連携した防犯活動・交通安全活動等の推進【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■人口千人あたりの刑法犯認知件数（H26）12.96 件→（H31）10.44 件

## ●(仮称)神栖中央公園防災アリーナの整備

- ・災害時の避難所機能及び救援救護活動スペース等の防災機能を備えた(仮称)神栖中央公園防災アリーナを整備することにより、市民の安全・安心を確保するとともに、平時は多くの人が集う多目的施設として、市の中心部にふさわしいにぎわいを創出します。



### 【具体的事業】

- 神栖中央公園防災アリーナ(仮称)整備運営事業【継続】

## ●地域防災活動の推進

- ・地域防災の中核を担う消防団員を確保するとともに、安全装備品の配備を促進し、消防団の充実強化を図ります。
- ・地域コミュニティを基盤とした自主防災活動を進めるため、自主防災組織の結成促進等を進めます。

### 【具体的事業】

- 消防団の充実強化【継続】
- 自主防災組織の結成促進【継続】

#### 重要業績評価指標 (KPI)

■消防団員数	(H26) 1,079人 → (H31) 1,100人
■自主防災組織の数	(H26) 58地区 → (H31) 68地区

## ②新たな魅力づくり

### ●芸術・文化によるまちづくり

- ・市民音楽祭や、市芸術祭、美術展の開催など、引き続き市民が主体となった活動を推進することに加え、街中を舞台としたアートイベントの開催や(仮称)神栖中央公園防災アリーナ内に予定されている音楽ホールを活用推進等、新たな取り組みにより、市民に芸術を身近に感じてもらい、芸術のまちづくりを進めます。
- ・映画ロケセットを観光資源とする等の映画によるまちづくりや、古民家におけるクラシックコンサートの開催など、芸術・文化を活用した地域活性化の取り組みを進めます。
- ・歴史散策ツアーの開催や、伝統文化の保存・継承等文化資源の保存に努めます。

### 【具体的事業】

- 協働のまちづくり推進事業補助金【継続】
- 芸術祭・神栖市美術展の開催【継続】

- まち・ひと・しごと創生事業【継続】
- 新たなアートイベントの開催【新規】
- 伝統文化・技術等の継承及び保護【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■芸術・文化関係イベントの年間来場者数  
（H26）13,355人 → （H31）14,500人

### ●ふるさととして誇れる地域づくり

- ・出身者だけでなく、移り住んできた人にとっても「ふるさと」と感じられるよう、市民が市の文化や歴史、産業に親しみを感じ、地域の誇りや愛着を育む地域づくりを進めます。
- ・市民が主体的に地域づくりに関わる意識の醸成を図りながら、自助・共助・公助の観点から行う、市民協働のまちづくりを進めます。
- ・児童生徒の郷土愛の育成に向けて、地域の自然や伝統文化に触れ、体験する機会の充実を図ります。

#### 【具体的事業】

- 市民討議会の開催【継続】
- 市民が主体となるまちづくり地域サロンの開催【新規】
- シビックプライドを育む地域づくり【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■地区加入率 （H26）50.16% → （H31）50%維持

### ●（仮称）神栖中央公園防災アリーナの整備（再掲）

- ・災害時の避難所機能及び救援救護活動スペース等の防災機能を備えた（仮称）神栖中央公園防災アリーナを整備することにより、市民の安全・安心を確保するとともに、平時は多くの人が集う多目的施設として、市の中心部にふさわしいにぎわいを創出します。

#### 【具体的事業】

- 神栖中央公園防災アリーナ（仮称）整備運営事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■（仮称）神栖中央公園防災アリーナの年間利用者数 → （H31）100,000人

### ●新たな魅力づくりに向けた検討

- ・既存資源のリニューアルも含め、市の新たな魅力となりうる地域資源について検討していきます。

#### 【具体的事業】

- 市の新たな魅力づくりの検討【新規】

### ③人口減少・高齢社会のまちづくり

#### ●地域公共交通の充実

- ・今後の地域公共交通体系のマスタープランとなる地域公共交通網形成計画を策定し、人口減少・高齢社会においても、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。



#### 【具体的事業】

- 公共交通整備事業【継続】
- 神栖市地域公共交通網形成計画の策定【新規】

重要業績評価指標（KPI）

■デマンドタクシー年間利用件数 (H26) 30,174件 → (H31) 33,000件

#### ●多極分散型構造におけるコンパクトなまちづくりの検討

- ・南北に細長い特有の地形で、旧町村単位に生活利便施設等が点在している当市の特徴を踏まえつつ、人口減少・高齢社会に適応したコンパクトなまちづくりのあり方について、近年の社宅跡地開発など状況の変化にも留意しながら、検討を進めます。

#### 【具体的事業】

- 地域の特色を活かした神栖市型コンパクトなまちづくりの検討【新規】

#### ●公的施設の最適配置等既存ストックのマネジメント強化

- ・公共施設等の全体を把握し、計画的に管理することにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するために、公共施設等総合管理計画を策定します。

#### 【具体的事業】

- 神栖市公共施設等総合管理計画の策定【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■（H28年度策定予定の公共施設等総合管理計画の中で設定）

#### ●高齢者が住み続けられる環境づくり

- ・ホームヘルプ等の生活支援サービスの実施や、愛の定期便事業等の高齢者見守り事業などを行うことにより、高齢者が長く快適に住み続けられる環境づくりを目指します。

#### 【具体的事業】

- 生活支援サービスの実施【継続】
- 高齢者等の見守り事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■軽度生活援助サービスの利用者数 （H26）31人 → （H31）41人

■ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業利用者数  
（H26）193人 → （H31）290人

●健康なまちづくり

- ・本市は県平均より健康寿命や平均余命が短い現状を踏まえ、生活習慣病予防対策などにより、健康なまちづくりを目指します。

【具体的事業】

- 生活習慣病予防対策に関する疫学研究【継続】
- 健康増進事業【継続】

重要業績評価指標（KPI）

■生活習慣改善のための保健指導を受けた人の割合  
（H26）45.0%（見込み） → （H31）55.0%





か<sub>ん</sub>どうみ<sub>つ</sub>けてす<sub>ま</sub>いるか<sub>み</sub>す

